

新型コロナ感染拡大防止に伴う対応

【2020年7月1日からの授業の実施方法について（方針）】

出雲キャンパス教務委員会 2020.6.11

- 対面授業は必要最低限の演習・実験・学内実習とし、講義は原則「オンデマンド型」や「同期型」による遠隔授業とする。

- 対面授業が必要な授業
以下に示したように、三密を避けフィジカル・ディスタンスを保つ対応などが確実にできる場合は、一部屋に100人以下の収容を可能とする。また、臨地実習については、各学科の取決めに従う。
 - ✓ 部屋の利用は収容人数の半分以下の人数で行うこと
 - ✓ グループで行う内容は、可能な限り少人数とすること
 - ✓ グループ間の交流が極力無いように運営し、ボードやシートで工夫すること
 - ✓ 換気回数（部屋の空気がすべて外気と入れ替わる回数）を毎時2回以上（30分に1回以上、数分間程度、ドアと窓を全開にすること
 - ✓ 学生間のグループワークやディベートは計画しないこと
 - ✓ 必要時以外は、人の間隔を2m以上確保すること
 - ✓ マイクを使い、大声や高唱を避けること
 - ✓ フェイスシールドの利用を前向きに検討すること
 - ✓ 授業の前後はもちろん、授業中であっても、共有物品や接触する場所は拭き掃除を心がけること
 - ✓ 学生自身の健康や不安などの理由で対面授業に参加できない旨の連絡があった場合、最大限の措置（代替措置）を講ずること

- 登校の条件
 - ✓ 前日や当日の体調に問題が無く、健康であること
 - ✓ マスクを着用していること

学内から罹患者が発生し、学内で感染の可能性がある場合は、対応が変わりますので、常にお知らせについて確認してください。